

保 和

例年よりも厳しい冬が続いています。寒さに負けずに頑張ってください。

平成29年2月3日

栃木市立家中小学校 TEL 27-2367

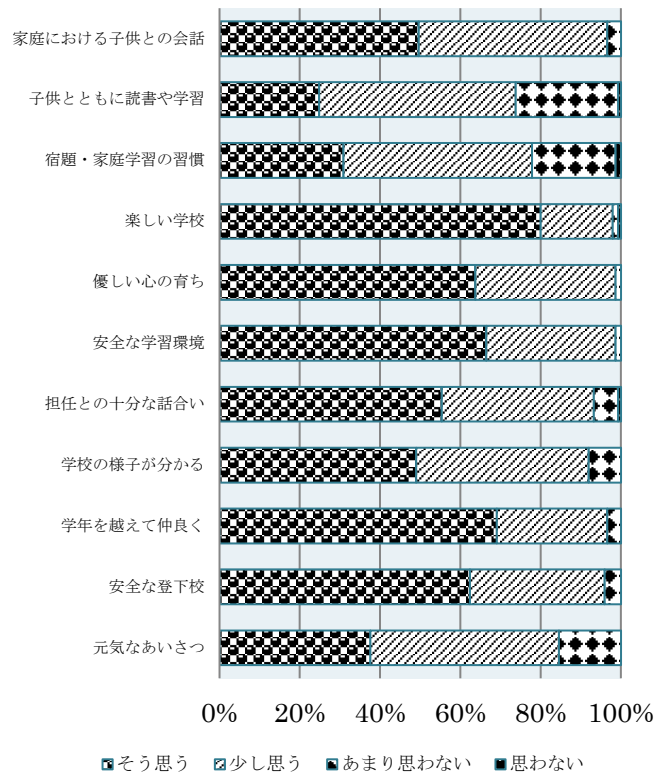
例年よりも寒さが続いています・・・

この冬は11月頃から寒さが増してきているので、寒さがずっと続いている感じがします。立春も近く、春の兆しを感じ始める頃なのですが、実際にはもう少し寒い日が続くのでしょうか。寒さの中ですが、家中の子どもたちは元気に登校しています。とても立派です。学校の周りの梅の木も、少しずつ蕾が膨らみ始めています。来たるべき春を楽しみにしながら、2月の寒さも楽しんでいけたらと思っています。

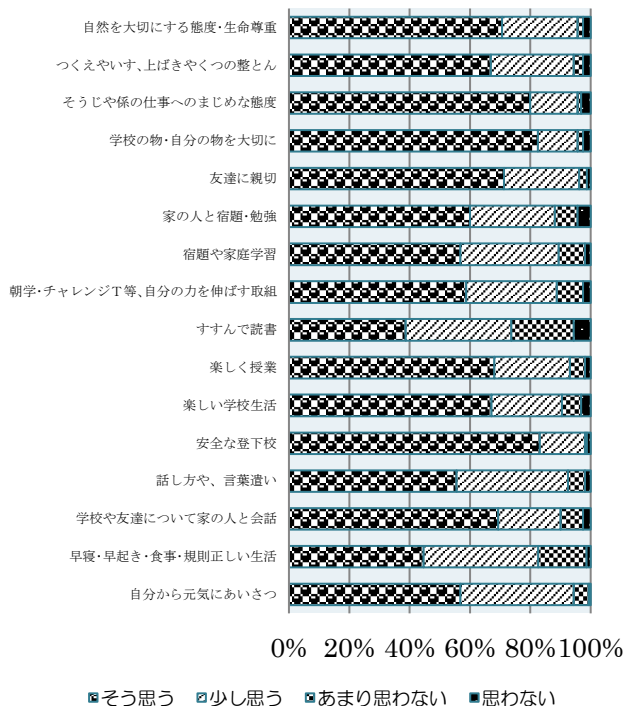
学校評価アンケート結果をお知らせします

過日実施しました学校評価アンケートについては、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。集計結果と共に考察を下記の通り報告させていただきます。

保護者アンケート（149名の回答）



児童アンケート（160名の回答）



《児童アンケートに関する考察》

児童アンケートでは、16項目のうち11項目が「そう思う」と「少し思う」を合わせると、90%以上という結果になっています。これは、昨年度よりも2項目多くなっています。また、そのうち「そう思う」だけで80%以上となっている項目は、「安全な登下校」「物を大切に」「仕事への真面目な態度」の3項目ありました。また、昨年度と比べた「そう思う」の割合の上昇の割合を見ると「自分から元気にあいさつ」は11%、「宿題や家庭学習」は9%もありました。大変素晴らしいことです。それに対し、「早寝・早起き等の規則正しい生活」「すすんで読書」の「そう思う」のポイントが50%に

満たない低い評価となりました。個人差もあるとは思いますが、これらの点に関しては、学校と家庭が連携し合って改善のための具体策を講じる必要があると考えます。

《保護者アンケートに関する考察》

保護者アンケートでは、11項目のうち8項目が「そう思う」と「少し思う」を合わせると、90%以上という結果になっています。これも、昨年度よりも2項目多くなっています。特に、「安全な登下校」「優しい心の育ち」「楽しい学校」の項目については、「そう思う」の回答が昨年よりも10%以上上昇する結果となりました。こちら素晴らしい評価が出ています。反面、「宿題・家庭学習の習慣」「子どもと共に読書や学習」の項目については、「そう思う」と「少し思う」を合わせた評価が80%に達しない結果も出ています。宿題や家庭学習の習慣作りについては、学校でも重点指導項目にして、朝の学習や自主学習の工夫をしてきたのですが、学びの習慣作り等に関して今後も家庭との協力・連携を図りながら改善を継続していかなければならないと考えます。

《子どもの考え、大人の考え》

大人と子どもの評価のギャップが目立つのは以下の点です。

「宿題や家庭学習」の項目では、約60%「安全な登下校」の項目では、約80%の児童が「よくやっている」と考えているのに対し、保護者の評価はそれよりも20~30%程度低くなっています。昨年も似たような傾向はありました。本校の実態として宿題をやってこない児童が多いという傾向はないので、やはり「宿題が終われば家庭学習も終わり」と考える児童と、「宿題のほかに自主的にもっと学習を行ってほしい」と考える保護者の方々がいて、このようなギャップが出てくるのかもしれない。

学習に関する別の項目だと「家の人と学習」では、児童で「そう思う」と答えた児童

は60%であるのに対し、「子どもと共に読書や学習」に関する保護者の方々の評価は、「そう思う」が25%と低く、かなりの差があります。子どもたちは、大人が思っている以上に「おうちの人たちと一緒に家庭で学習している」と思っているのでしょうか。

この結果を見ると、ここに家庭での学習習慣作りのポイントがあるかもしれないと感じます。すなわち、家中小の子どもたちのための次のステップは、「大人がいなくても子どもが自ら学びを始める環境作り」ということになるような気がします。

学校では、今年度朝の学習をチャイムの合図でスタートするのではなく、「時間が来たら自分から学び始めよう」という設定に変えてみました。まだまだその成果は完全ではありませんが、先生に指示されなくても学び始める子どもが確実に増えています。ご家庭でも「子どもが自発的に学習をスタートできるルール作り」と「おうちの人と共に学ぶ時間の設定」の2面で、「子どもの学年に応じた家での学びの約束を決める」というのはいかがでしょうか。

《まとめとして》

学校評価アンケートは、概ねよい結果となりました。校内でも、1年間の学校生活について教職員の自己評価をしています。また、先日は都賀地区で今年度から始まった「小中一貫教育」についても保護者の皆様方からご意見をいただきました。それらの結果の詳細をもう一度検討し、次年度の学校経営や都賀地区が一体となった「小中一貫教育」の推進に生かしていきたいと思えます。今後も、家中小学校の子どもの更なる健全育成のために、学校で指導する内容、家庭や地域の皆様と連携しながら工夫を進めていくことの両面から具体策を設定していきたいと考えています。これまで同様、皆様のご理解ご協力をどうぞよろしくお願い致します。